

記念講演特集

以下に収載する 3 編の報文は、第 1 回学術総会における記念講演の招待講師らによるものである。化学生物総合管理学会は 2004 年 1 月に発足し、4 月に特定非営利活動法人(NPO)として認証を得て本格的な活動を開始した。そして最初の定期総会を 7 月 2 日に開催するとともに、定期総会に引き続き第 1 回学術総会として「設立記念講演会」を開催した。

記念講演の各演題と講師は下記のとおりで、いずれも化学物質やナノ材料のリスク管理に関する最新の話題を取り上げている。

(1) CPP(Chemical Product Policy)の動向と企業の対応戦略

市川芳明氏 株式会社日立製作所 産業システム事業部
上席コンサルタント

(2) 化学物質総合管理のための評価指標の開発

ー評価指標の基本体系ー

大久保明子氏 お茶の水女子大学 ライフワールド・ウォッチセンター
研究員

(3) ナノテクノロジーが社会にもたらす諸影響に関する欧米の取り組み

竹村誠洋氏 独立行政法人 物質・材料研究機構 ナノテクノロジー総合支援プロジェクトセンター 主幹研究員

講演は設立記念講演にふさわしいものであった。国内外で今まさに論議されており、今後我が国で真摯に取り組むべき課題について最新の情報や取組みのあり方を提供いただき、活発な質疑応答が行われた。

本号に収載した報文は、各講師が記念講演での発表内容をもとに新たに作成したものである。第 2 回学術総会は 2005 年 5 月または 6 月に開催する予定で、招待講演だけでなく、学術総会の本来の趣旨である会員による研究発表の募集も計画されており、これらについてもいずれ本学会誌に投稿されるものと期待している。

(文責：化学生物総合管理学会 中村幸一)